

関西ハーモニカ連盟会報

ハーモニー

Harmony



221

2019年10月

ドレミちゃん
© 関西ハーモニカ連盟 2011

関西ハーモニカ連盟 組織 2019年8月15日現在

会 長	仲村 眞	〒558-0054 大阪市住吉区帝塚山東 1-7-15 フォルム帝塚山 309号 TEL 06-6674-0152 FAX も同じ
理 事 長	吹上晴彦	〒602-8488 京都市上京区真倉町 757-107 TEL 075-411-1531 FAX も同じ
副理事長兼事業部長	梁木 進	〒599-8116 堺市東区野尻町 192-20 TEL 090-8655-6045 FAX 072-286-4890
事業部長補佐	小川未佐子、鐘ヶ江義行、木ノ山洋子、源馬英人、富久鉄男、松本千佳子	
副理事長兼事務局長	村上博昭	〒630-0141 生駒市ひかりが丘 1-13-20 TEL 0743-79-9559 FAX も同じ
事務局長補佐	角野まゆみ	
編 集 局 長	もり・けん	〒594-0041 和泉市いぶき野 4-1-4-209 TEL 0725-57-7235 FAX も同じ (会報の原稿は会報編集室まで)
連盟会報編集室	(会報の原稿の送付先、会報誌に関する問い合わせ等)	harmonica@cardandmedia.co.jp 〒530-0037 大阪市北区松ヶ枝町 6-12 西栄ビル 2F 関西ハーモニカ連盟事務局 TEL 06-6354-0323 FAX 06-6353-1393
編集局長補佐	岩本洋之、竹内寿子	
研 修 部 長	小林由美子	〒662-0046 西宮市千歳町 7-42 TEL 0798-22-1844 FAX も同じ
研修部長補佐	住田陽子、永野富康、西本豪介、丸山茂生	
組 織 部 長	梅田恒弘	〒611-0021 宇治市宇治塔川 3-11 TEL 0774-21-2373 FAX 0774-39-5506
組織部長補佐	松本千佳子 (兼)	
会 計 部 長	柴田正之	〒654-0013 神戸市須磨区大手町 5-3-1 TEL 078-734-5157 FAX も同じ
会計部長補佐	木ノ山洋子 (兼)	20人

理 事 青木鈴子、新井尚子、稲垣裕子、井上孝子、内田常雄、尾崎雄三、小野浩子 (事業部長補佐)、金丸寿夫、喜多創平、木原淳、黒谷マズ子、源馬恵子、佐藤長、園真佳、高阪他美子、高山美千代、田口史朗、田口幸輝、谷口昌子、伊達吉孝、中崎利枝子、中谷晃、中西富佐男、新山ミツ子、新田真理、服部恵美子、羽原伸示、林和子、福島隆志、藤野つるみ、保理江元子、松岡郁子、松本忠義、道下雅之、光野利一郎、渡辺晃志 (編集局 HP 担当)、和谷篤樹 37人

会 計 監 査 後藤貞男

常 任 顧 問 (五十音順) 寺村安雄、村上浩一、吉村則次 3人

顧 問 (該当者なし)

特 別 顧 問 (五十音順) 斎藤寿孝、十河陽一、徳永延生、水野隆元、森本恵夫、和谷泰扶 6人

関西ハーモニカ連盟 ホームページ <http://harmonika-renmei.studio-web.net/>



入会のご案内 組織部長

入会金：1000円 (団体は1団体1律1000円) 但し2019年度に限り入会金無料
年会費 (1月から12月)：

個人会員 5000円、地域外個人会員 5000円、準会員 (30歳未満の方) 1000円

団体会員 (5名以上の団体で1名につき) 1000円、賛助会員 10000円

郵便振替口座：00950-6-115527、加入者名：関西ハーモニカ連盟、通信欄に「入会申し込み」と記入してください。

◎入会申込書は必ず組織部へお送り下さい。

ハーモニカが好きなら、吹く方、吹かない方、上手な方、下手な方、上手になりたい方、ニュースだけほしい方等、どなたでも入会できます。



発行部数 550 毎年 1、4、7、10月に発行 (送付はそれぞれ前月中下旬)
表紙、裏表紙の写真は鹿児島県曾於市の岩川保育園・太陽の子保育園の園児たちです (もり・けん指導)。

目次

第30回関西ハーモニカ祭りのご案内	事業部長	梁木 進	2
2019年度第4回研修会のご案内	研修部長	小林由美子	3
常任理事会実施報告	事務局	角野まゆみ	3
2019年度第1回研修会報告(水野隆元 講師)	研修部	住田陽子	4
2019年度第2回研修会報告(宇佐美進 講師)		岡本幸子	6
2019年40周年スプリングコンサート決算	会計部長	柴田正之	8
2019年40周年記念行事決算	会計部長	柴田正之	9
ハーモニカカレンダー	編集局		10
私の交流・表現道具としてのハーモニカ	編集局長	もり・けん	12
教室だより まほろば		青木鈴子	13
教室だより 小野楽しいハーモニカサークル		今泉 宏	14
若い梁木進、古希コンサート		吉村則次	15
第37回 もり・けん教室合同発表会		竹井健三	16
第39回 F.I.H. ハーモニカコンテスト2019 関西勢頑張る		吉村則次	17
導かれてモンゴルへ		松浦千恵	18
会員紹介コーナー		岩本洋之	19
古関裕而 生誕110周年に寄せて		寺村安雄	20
れんめいひろば	編集局		22
行って!見て!聞いて! (私の備忘録) vol.14		岩本洋之	24
連盟サイト閲覧手引き X	編集局 HP 担当	渡辺晃志	26
会員異動のお知らせ	組織部長	梅田恒弘	27
編集後記	編集局		28

関西ハーモニカ連盟創立 40 周年記念

第 30 回 関西ハーモニカ祭りのご案内

主催 関西ハーモニカ連盟

《入場無料》



開催日時： 2019年10月19日(土) 時刻(開演11:00 終演18:00 予定)

2019年10月20日(日) 時刻(開演10:00 終演18:00 予定)

会場： 京都府長岡京記念文化会館(1000席)

住所： 長岡京市天神4丁目1番1号 (TEL 075-955-5711)



阪急京都線 長岡天神駅下車、西へ徒歩6分

JR東海道本線 長岡京駅下車、西口よりバス6分

(阪急バス、JR長岡京西口停留所より開田停留所又は文化センター前停留所下車)

※ご来館の際は、電車・バスなどの公共交通機関でお越し下さい。

「連盟創立 40 周年記念のイベントコーナー」

- ① あのころの歌 (40年前の歌、ハーモニカ祭り初期の歌、平成の歌等)
- ② 10月20日 ゲストコーナー (Bom X Boa ご家族の演奏会)
- ③ 10月20日は、F.I.H. JAPAN ハーモニカコンテスト入賞者の演奏コーナー

事業部長 梁木 進

2019年度 第4回研修会のご案内

第4回研修会はすでに定員を超えていますが、キャンセル待ちでよろしければ「ハーモニー」(219号17ページ)の用紙でお申し込みください。

会 場：愛日会館

大阪府中央区本町 4-7-11

電話 06-6264-4100

研修時間：14:00~16:30（毎回）

参加費：会場にてお支払い下さい。

会員 1,500 円、非会員 2,500 円

人 数：80 名（予約が必要です）

申 込 先：丸山茂生

TEL/FAX 072-793-7164

第4回 11月10日(日)

<講 師> 津田佳世子

(ハーモニカ振興会専任講師/クロマチック

ハーモニカ・複音ハーモニカ)

<内 容>

テーマ：「複音もクロマチックも、とにかく音が命！体を楽器の一部として最高の音作りを！」

難しい曲を吹かなくても、良い音なら心に響く演奏ができます。呼吸、喉、鼻、口の中などすべてを見直し、美しい音色を響かせましょう。

<使用するハーモニカ>

クロマチックハーモニカか複音ハーモニカC

(両方お持ちの方は両方)

* キャンセルが発生した場合、順次連絡いたします。

* お申し込み後にキャンセルされる場合は早急に連絡をお願いします。なお、当日のキャンセルについては運営の都合上、会費をいただきますのでご了承ください。

(研修部長 小林由美子)

事務局だより

常任理事会実施報告

2019年第4回常任理事会報告

日時 2019年6月24日(月) 午後6時より

場所 ふんふんさろん

- 議題
- ①事業部 スプリングコンサート総括
第30回関西ハーモニカ祭りについて
 - ②40周年記念式典総括
 - ③編集局 会報について
 - ④組織部 会員動向について
 - ⑤研修部 研修会申し込み状況について
 - ⑥会計部 40周年記念行事決算速報

(事務局 角野まゆみ)

「音楽を進行させること」

平面的で停滞した稚拙な演奏を卒業！ 活き活きとした立体的な演奏を今すぐ始めよう！



青葉がまぶしい令和元年5月19日(日)第1回研修会が愛日会館で行われました。

今年で3回目の西日本、F.I.H.世界ハーモニカコンクール審査員の水野隆元先生が、ある一つの音が次の音に進行することによって何か感じることが起こり、自分でコントロールすることで演奏が立体的になっていくという「音楽を進行させること」というテーマで、用意して下さった楽譜での練習を通して、分かり易くお話しして下さいました。

■進行するってどういうこと？

♪ ♪ ♫ ♫ ♫ ♫ ♫ ♫

音を並べていくのは、ただ音を鳴らしているにすぎない。

♪ ♪ ♫ | ♫ ♫ | ♫ ♫ | ♫ ♫ |

小節線を入れると、3拍目から次の頭の拍に何か意識されるものがある。3拍目の弱拍から小

節線をまたいで1拍目は強拍がくることが多い。拍節から生まれる進行は、自然現象として人がどう感じるかで、進行力が生まれる。

■フレージングで進行させる

一つの音節の事をフレーズという。一つの音節の中でどう動かしていくかをフレージングという。「ソルヴェイグの歌」の1小節目の4拍目から歌が始まり、最初のミからラに向かっていく力(前に行こうとする力=進行力)を意識するのが大切。

・頂点の選定…音が高くなるとエネルギーが高くなる事が多い。3小節目のファが頂点。演奏する時、身体を使い、その力を息に変えて音になる。エネルギーの向かう先が頂点。

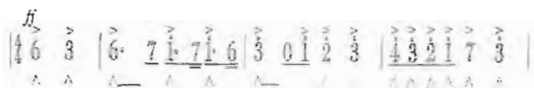


・クレッシェンドとデクレッシェンド…ファの頂点に向かって、エネルギーが増大、息の密度が濃くなり、音質も野太く、芯がはっきりした音になる。頂点を越えるとエネルギーの変化が生じ、圧力が薄くなっていく。フレーズの中に、頂点があり、それに近づけば、引っ張る力が強まる。頂点から離れると、弛緩していく、と意識することが大事。

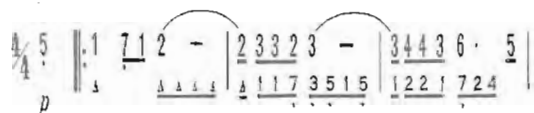


■アクセントで進行させる

・アクセントには、音を放つように強調させるものと、表情を付けて目立たせるものがある。「ファランドール」のアクセントは、遠くに音が飛ぶように、放つ力によって、音楽を前に動かす事が出来る。

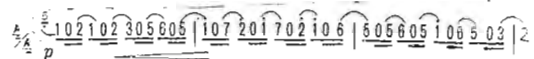


「別れの曲」では、伸びる音であるラー、ミー、ラーに感情的アクセントを使う。特別な音と感じて長い音を支え、どういう音を出すか考えて、ラーの頂点に引っ張られる様に演奏。



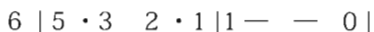
・自然現象としてのアクセント…2分音符は、2拍支えるためしっかりとした音が必要なのでアクセントの要素がある。

・スラーによるアクセント…「ユモレスク」では、スラーの頭はアクセントの性質があるので、アクセントを感じて演奏する。



・装飾音によるアクセント…前打音やトリルは、ピアノのない時代に、ハープシコードなどの音が一定しか出ないので、どう音を強調するか生み出された。印象に残る様に演奏する。
・先取音によるアクセント…「アニーローリー」

の8分音符のドが先取音で、次の小節のドを先行している。感情的アクセントで演奏。



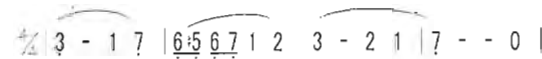
■スラーで進行させる

スラーの起こりは楽器の使用上の問題からくる。ヴァイオリンが1回で弓を弾く、また管楽器が1回の息で出せる様、演奏しやすいようにスラーが作られた。

・アーティキュレーション・スラーとは「ユモレスク」の様に、音の立ち上がりが次の音にどうつながるか司る。始めの音はアクセントで、後ろの音は柔らかい短めの音の性質。



・フレージング・スラーは、一つの固まりとして認識してほしい。



「野花」では、最初のミはしっかりと発音、次の音はレガートなので支えて、シは少し柔らかく吹く。フレーズの閉じ方にも動きを与えて、スラーがある事によって、音楽が進行している。3小節目のミは頂点なので、ミに引っ張られる様に吹き、表情が出てくる。

・歌詞によっても変化をつけることが出来る。「月の沙漠」では、1番と2番では歌詞が違うので、演奏を変える事が出来る。

楽譜には、作曲家が音楽をどう進行させるかを指示してあるので、演奏者はそれを解釈して色々試すことで変化するので、演奏を考えて作っていくと良い。



研修部

最後に、ソロ演奏「ユモレスクとスワニー河」、小林希久子さんとのデュオで甲賀一宏先生編曲「佐々木すぐるによる二つの童謡」月の沙漠と赤

ちゃんのお耳のメドレーの、素晴らしい演奏を聴かせて頂きまして、ありがとうございました。

アンケートより

- 拍節だけでも進行力があり、音の強調のさせ方に色々な意味があると分かった。
- 楽譜を見て、色々な表現を読み取る力！意識をすること！大変勉強になった。
- 素晴らしい演奏を聴かせて頂き感激した
- 平面的な吹き方しか出来なかったのが、新しい視点で楽譜を見る事が出来た。

(研修部 住田陽子)



2019年度 第2回研修会報告 講師：宇佐美進先生 「良い演奏をするには・良い演奏のテクニック」

令和元年7月21日(日)愛日会館、初めに吹上理事長の挨拶と講師の宇佐美先生の紹介がありました。大阪におられた時(昭56~平13)宇佐美先生は吹上先生、村上博昭先生、西本豪介さんたちとアンサンブルグループを組んでコンテストで2回優勝されたそうです。

マイクが宇佐美先生に渡り、自己紹介になりました。

3歳の時にお父さんから本物のハーモニカをもらって吹いてから83歳の現在まで80年間もハーモニカを吹いておられます。小学校時代は唱歌を歌うだけ、中学校時代は学芸会で音楽の

先生のピアノ伴奏でハーモニカを吹いて褒められ自信がつき、高校は工業高校だったので音楽無し。全くの自己流で耳から聴く曲をハーモニカで吹いておられたそうです。社会人になって仕事の関係で出席した冠婚葬祭の場で依頼されて吹いて自信もついてきた時、日本ハーモニカクラブに入会してコンサートに出たところ「自分は井の中の蛙」だったと痛感！それからは自分で工夫、研究して独学でいろいろな奏法を開発されたそうです。

この経験をお話ししますと言われて丁寧に説明していただきました。

■良い演奏をするには

- * 曲をよく理解して、ハーモニカで歌う…情景を思い浮かべながら
- * フレーズと息づかい…フレーズは一息で演奏する
- * 良いハーモニカを…高価なものではなくよく調律されたハーモニカ
- * 音には余韻を…余韻を大切にプツンと切らない
- * 瞬間ブレスと鼻のバイパス…ハーモニカを吹きながら鼻からも吹き吸い



- * PP (弱い音) が大切・・・ロングトーンで練習
- * ベースの大きさ・長さを曲に合わせて・・・7度・5度・3度など
- * 半音奏法を滑らかに・・・顔も口も動かさずハーモニカだけを動かす
- * 速いフレーズ・装飾音は1音1音正確に・・・2穴奏法+縦(前後)奏法併用で

■良い演奏のテクニック

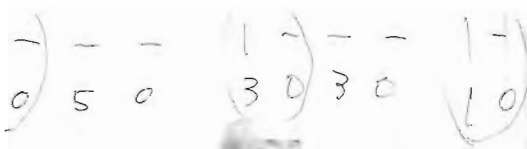
- * 2穴奏法・・・ハーモニカの移動が半分程度になって速い演奏が容易になる
- * 3→4穴奏法・・・メロディの正副、ベースのバランスを変えられる
- * ベース奏法・・・軟らかいベース、鋭敏なベース、大小ベース、開放ベース、ワルツ奏法
- * オクターヴ奏法・・・両端以外の音を完全にブロックする



<質問> 開放ベースできれいに終わるにはどうすればいいでしょうか？

<答え> 大ベースの口にして強くならないようにして舌を奥へ引っ込める。

最後に「さざんかの宿」を演奏していただいて終わりました。



- * 分散和音奏法・・・7度、5度、3度の練習
- * グリッサンド奏法・・・1穴より小さい口で移動
- * トリル奏法・・・ゆっくりから徐々に速くし静かに終わる
- * 滑らかな半音奏法・・・ハーモニカだけ動かす
- * マンドリン奏法・・・スイカの種をプツと吹いた後の口と舌で
- * ヴァイオリン奏法・・・上の穴に口を当て細い息を入れ前後(左右)にゆらす

譜面に歌詞を入れると「著作権料」を払わないといけないそうです。歌詞のない譜面には歌詞を書き込んで、情景を思い浮かべながらハーモニカで歌うように吹こうと再々認識しました。

アンケートより

- ・長年の貴重な研究成果を有難うございました。
- ・演奏計画、2穴、4穴奏法、ベース奏法とても勉強になった。
- ・基本に戻り、忘れていたことを思い出した。演奏テクニックを色々教えていただいた。
- ・基礎理論と練習の大切さを感じた。新しい発見があった。
- ・ハーモニカの奥の深さに気づかされた。

(岡本幸子)



会計部

2019年 40周年記念スプリングコンサート決算

会計部長 柴田正之 2019年8月4日.

2019年5月5日 メルパルク大阪

参考2015年3月8日 大阪中央公会堂

収入の部			
項目	金額	摘要	
入場券	615枚	1,722,000	2800円
	67枚	166,000	2500円 注
お祝い等		60,400	
収入合計		1,948,400	

収入の部			
項目	金額	摘要	
前売り券	1032枚	2,064,000	2000円
当日券	17枚	42,500	
お祝い		20,000	
収入合計		2,126,500	

注 内 半額1枚 10%引き1枚

支出の部			
室使用料		431,500	
設備代		401,550	
音響技術員費		236,520	
プログラム代		101,898	
チラシ代		14,971	5000枚
チケット代		25,320	
チケットその他送料		46,108	
看板制作費		19,596	
司会者謝礼		30,000	
出演者・謝礼・交通費		780,000	
世話役当日交通費		0	当日なし
会場下見交通費		17,580	
出演者その他弁当代		73,860	
著作権料		72,544	
保険料		0	
懇親会ゲスト補填		11,100	
ビデオ撮影基本料		0	
雑費		6,377	
支出合計金額		2,268,924	

支出の部			
室使用料		182,040	
設備代		174,120	
音響技術員費		153,510	
プログラム代		94,392	
チラシ代		162,432	1万枚
チケット代		28,252	
チケットその他送料		38,144	
看板制作費		13,172	
司会者謝礼		30,000	
出演者・謝礼・交通費		378,000	
世話役当日交通費		93,000	
会場下見交通費		20,120	
出演者その他弁当代		58,000	
著作権料		112,546	
保険料		8,140	
懇親会ゲスト補填		22,000	
ビデオ撮影基本料		24,000	
雑費		27,626	
支出合計金額		1,619,494	

収支	-320,524
----	----------

収支	507,006	寄付
----	---------	----

2015年の大阪中央公会堂と比較すると 入場料収入-20万 経費支出 +60万
により 32万の赤字となった。

経費支出増加の要因は、会場費増55万、出演者謝礼増40万、ちらし作成費減
15万、世話役交通費減10万 等による。

2019年 40周年記念行事決算

会計部長 柴田正之 2019年8月4日

収入の部				予算
項目	摘要	金額	備考	金額
お祝い		60,000		
収入合計		60,000		0

支出の部				
式典		141,880	6月2日 徐園 出席者65名	90,000
	ゲスト謝礼	100,000	2人	
	ゲスト懇親会費補填	30,000	6人	
	看板代	11,880		
記念誌		392,212		292,000
	印刷代	218,000	48頁 1000部	
	デザイン制作費	112,000		
	送料	33,160	個人会員約230人 団体会員約600人 全員に送付	
	消費税	29,052		
会報220号全会員へ		85,600		232,000
	印刷代	85,600	団体会員用 プラス400部	
	送料	0	特に送料のプラスなし	
その他		15,549		20,000
支出の部合計		635,241		634,000

収支計		-575,241		-634,000
-----	--	----------	--	----------



☆☆ ハーモニカ カレンダー ☆☆

2019年8月15日現在 関西ハーモニカ連盟 編集局



開催日時	主催・講師・内容	会場・料金・問い合わせ先
9月23日(月)	もり・けん主催 西光寺お彼岸ハーモニカコンサート	大阪市住吉区 西光寺 【問】もり・けんプランニング
10月6日(日)	もり・けん主催 太閤園コンサート(小豆敬子エレクトーン/もり・けんハーモニカ)	大阪市都島区 太閤園 有料 【問】もり・けんプランニング
10月14日(月) 12:30～17:00	梁木進主催 複音ハーモニカ公開講座 (誰でも参加できます) 【WEB】	ココプラザ(大阪市立青少年センター) 101号室 1,000円【問】H企画梁木
10月19日(土) 11:00～18:00	連盟主催 創立40周年記念関西ハーモニカ祭り	京都府長岡京市 長岡京記念文化会館 入場無料
10月20日(日) 10:00～18:00	(P2参照) 【WEB】	【問】事業部梁木進
10月26日(土) 12:00～16:30	尼崎ハーモニカエコーズ主催 第34回たのしいハーモニカコンサート	尼崎市大庄南 生涯学習プラザ(大庄公民館3F) 入場無料 【問】福留勝子 06-6419-1307
10月28日(月)	連盟常任理事会	ふんふんざろん
11月2日(土) 12:30～17:00	梁木進主催 複音ハーモニカ公開講座 (誰でも参加できます) 【WEB】	ココプラザ(大阪市立青少年センター) 405/406号室 1000円【問】H企画梁木
11月10日(日) 14:00～16:30	連盟主催 第4回研修会 講師 津田佳世子(P3参照) 【WEB】	大阪市中央区 愛日会館 有料
11月10日(日) 13:00～	NHK神戸マリンハーモニカ主催 第16回 たのしいハーモニカ発表会	神戸市中央区 神戸中華会館東亜ホール 入場無料【問】吉村望 078-752-9013
11月17日(日)	徳永教室発表会	大阪市北区茶屋町 BONILLA 入場料 1,000円【問】徳永延生
11月24日(日)	吉村則次クロマチック教室合同発表会	堺市東区北野田フェスティバル・フラットホール 入場無料【問】吉村則次
11月24日(日) 13:00～17:00	梁木進主催 ハーモニカ吹きまくり (誰でも参加できます)	ふんふんざろん 吹く人 1,000円、聞くだけ無料 要予約【問】H企画梁木
11月25日(月) 13:00～15:00	もり・けん主催 ロシアンミュージックコンサート in 太閤園 ハーモニカ(もり・けん) & ドムラ&パヤン	大阪市都島区 太閤園 ランチ付き 6,500円 【問】もり・けんプランニング
11月25日(月)	連盟常任理事会	ふんふんざろん
12月8日(日)	もり・けん主催 もり・けん&サウガゲレル モンゴルコンサート	大阪市都島区 太閤園 有料 【問】もり・けんプランニング
12月8日(日) 12:00～	ハモニ館 望年コンサート	大阪市西区 徐園 【問】ハモニ館 吹上



日 時	主 催 者 名 (取 組 先)	会 場 ・ お 問 合 せ 先
12月12日(木) 13:00～	日本ハーモニカ芸術協会主催 佐藤秀廊生 誕 120 年記念コンサート 梅田恒弘出演	東京都荒川区 日暮里サニーホール
12月15日(日) 14:00～	岩本洋之主催 ハーモニカリサイタル 「ハーモニカで世界を駆ける」 【WEB】	近鉄学園前ホール 500 円 【問】岩本 090-6204-4936
12月21日(土) 12:30～17:00	梁木進主催 複音ハーモニカ公開講座 (誰でも参加できます)	ココプラザ(大阪市立青少年センター) 101 号室 1,000 円【問】H 企画梁木
12月22日(日) 13:00～	梁木進主催 梁木ハーモニカ教室発表会 (誰でも参加できます)	大阪市西区 徐園 食事付 5,500 円 【問】H 企画梁木
12月23日(月)	連盟常任理事会	ふんふんさろん
2020 年		
1 月 12 日(日)	梁木進主催 ハデコンコンサート	ココプラザ(大阪市立青少年センター) 2F ホール ココエクスプレス 【問】H 企画梁木
1 月 13 日(月祝)	日本ハーモニカ芸術協会関西支部連合会主 催 ハーモニカ講習会 講師：田邊峯光 【WEB】	大阪市中央区 愛日会館 有料 【問】村上博昭 0743-79-9559
1 月 27 日(月)	連盟常任理事会	ふんふんさろん
2 月 11 日(火祝)	連盟定時総会	大阪市西区 徐園
3 月 14 日(土) 10:00～	梅田教室主催 第 12 回梅田ハーモニカ教室演奏発表会	宇治市文化センター小ホール 入場無料【問】梅田恒弘 0774-21-2373 (090-5055-7237)
4 月 27 日(月)	日本ハーモニカ芸術協会総会&定期演奏会	東京都荒川区 日暮里サニーホール

過去のイベントはホームページの『会報バック No 目次』をご覧ください。

<http://harmonika-renmei.studio-web.net/>

【問】：問い合わせ先 【WEB】：WEB のカレンダーもご覧ください。

●問合せ先(順不同)

- 徳永延生……………06-6934-7266
- 事業部梁木進, H 企画梁木 090-8655-6045 FAX 072-286-4890
- ハモニ館 吹上晴彦……………090-8482-4806 FAX 075-411-1531
- 寺村安雄……………090-9092-8814 FAX 072-297-5737
- 吉村則次……………072-251-9398
- もり・けんプランニング…090-1485-6877 (東)
- ふんふんさろん……………06-6352-8005 FAX 06-6353-1393



「私の交流・表現道具としてのハーモニカ」

編集局長 もり・けん

2018年7月にスタートしたこの企画。前回の小林研修部長の原稿はハーモニカとの出会いの部分が、私との共通項が多くて興味深く見せてもらいました。

どちらも亡き父のハーモニカを聴いて育ったこと。連盟創立当時二人の父は、事務局長と、研修部長で犬猿の仲だったようですが、子同士はそうではありません。

私の母の胎内で聴いていた父のハーモニカの音楽が、私のベースになっていることは間違いありません。しかし私は中学時代、父とは別の楽器をしたいと思います。当時流行していたフォークソングはギターが格好良くてそれに心を奪われてしまったからです。

私のハーモニカとのご縁はその時に一旦切れてしまいました。ギターとボーカルで、その後の学生生活を楽しみました。

社会人となり、就職先が幼児教育出版社でしたので、子どもに近い、絵本、子守歌、童謡を中心とした生活になっていきました。

そして私は月刊絵本の編集長になりましたが、そこで私の人生を変える大きな動きが起こります。司馬遼太郎さんの「モンゴル紀行」の文章に魅せられ「行きたい」夢が広がりました。

私は43歳の時に会社を辞め、フリーの放送作家となり、毎日放送「ごめんやす馬場章夫です」のスタッフに入れてもらいました。

そして、サラリーマンではできないモンゴル旅行を敢行しました。その時、私の荷物の中にはギターが入らず父からもらったハーモニカが数本ありました。

その頃は、モンゴルには直接は行けず、往復とも北京経由でした。モンゴルで、司馬さんを案内され影響を与えられたツェベグマさんに出会えたことで、私はモンゴルにぐんとのめり込むことになりました。ツェベグマさんは日本語OKで言葉の交流がすぐできたのですが、音楽交流は楽器が必要でした。歌を何度か聞かせてもらいハーモニカで探りながら曲を組み立てなが

らモンゴルの民謡を何曲か吹けるようになりしました。モンゴルではロシアの曲もOKということを知っていたので私には便利でした。

なんと知らぬ間にハーモニカが復活していました。モンゴルには、25年の間47回行きました。そしてその間、私たちと同じ「モンゴロイドを訪ねていく旅」をテーマに他のモンゴロイドの国へと範囲を広げていきました。

最初人類はアフリカに発生し、そこから北欧に移動してトナカイの遊牧民となりました。私はまず、フィンランド、ノルウェー、スウェーデンの北欧三国を訪ねました。人類はそこからユーラシアを東へ。モンゴル、ロシア、北極へ。そして当時は、大陸と繋がっていた北海道へと一部が移動して、アイヌとなりました。本隊は、北極近く氷の大陸を移動してアラスカ、カナダ、アメリカのインディアンとなり、さらに南下して南米のペルーのインディオになる壮大なモンゴロイド移動の足跡を残しました。

その流れで私も旅をしながら、どの地でもハーモニカがあれば、音楽交流ができました。モンゴロイドの旅のほかにも、タイ、ブータン、ミャンマー、ネパール、中国、台湾、韓国など、あちこちでハーモニカが役に立つ形になりました。

また、他の楽器とのコラボの面白さにも気づき、国内では、ギター、アルパ、ピアノ、エレクトーン、三味線、大正琴などとも合わせてきました。ケーナ、チャランゴなどのペルーの楽器、馬頭琴、ヨーチン、リンベなどのモンゴル楽器の奏者とコンサート活動も、太閤園や中央電気倶楽部などで定期的にコンサートしています。

私は関西ハーモニカ連盟では、編集局長として、会報発行や冊子制作などをさせてもらっていますが、そのほかのことについては、皆様となかなか一緒にできなくて申し訳ないと思っておりますが、今後ともこのスタンスでお付き合いをいただけたら幸いです。今後ともよろしくお願いたします。



教室だよ！

まほろば

所在地 奈良市中町 2310

電話 0742-45-2409

指導者 青木鈴子

練習日 第2・4月曜日 13:30～15:30

第2・4木曜日 9:30～11:30

会員数 24名（女性22、男性2）

年齢 60～70歳台



教室の様子

自宅の近くの方々が、私がハーモニカを吹いていることを知って吹いてみたいと、来てくださったのが始まりです。ハーモニカアンサンブルポコ・ア・ポコの練習も自宅でやっていたので気楽にその延長で始めました。ポコ・ア・ポコが14年目。まほろばの最初のグループはもうすぐ10年目に。

沢山の人数が入りませんので月1回の練習としてグループを組みました。4つのグループに分かれています。ハーモニカの持ち方から単音の出し方、ベースの付け方、オクターブと進んでいるグループ。楽しんで吹くことを主に地域の老人施設へ吹きに出ているグループ。佐藤秀廊先生の曲集に挑戦するグループ。自分で選んでこれを吹きたいのでと来られるグループと色々ですがハーモニカの音色に魅了されている方々です。とても熱心に練習を積んでこれ

られて関西連盟のハーモニカ祭りに独奏で参加する方も出てきました。

ハーモニカ祭りへ！

2017年の国文祭のハーモニカ祭りが奈良で開催。みんなでぜひ参加しようと「ポコ・ファミリーズ」としてステージへ。50名近くで「さんぼ」と「ふる

さと」を演奏。貴重な経験ができてとっても楽しい思いをしました。心を一つに音楽を奏でる喜びがあふれました。

ポコ・ファミリーズは「ポコ・ア・ポコ」「奈良カルチャーセンター」「るんるん・ポケット」「まほろば」当時「天理音楽院」との合同での参加でした。その後も関西連盟のハーモニカ祭りにはみんなで楽しく奏でようとポコ・ファミリーズは継続しています。2019年は三郷町の図書館の会議室で月一度のアンサンブル練習。ハーモニカ祭りへの練習に力を入れています。

ポコ・ファミリーズの発表会

毎年11月に三郷町の図書館・視聴覚室にて独奏とグループのアンサンブル発表を楽しんでいます。「まほろば」のメンバーもすでに曲は決まったようです。

(まほろば代表 青木鈴子)





小野楽しいハーモニカサークル

所在地 小野市立コミュニティーセンターおの 206 号室
小野市王子町 806-1 電話 0794-63-1020

指導者 高阪他美子先生

練習日 毎月第 1 金曜日 13:30 ~ 16:30

第 3 金曜日 自主練習

会員数 13 名 (女性 9、男性 4)

年齢 平均 74 歳



私たちのサークルは、現在部員 13 名で活動しています。発足当時(2006 年 4 月、13 名で発足)とほとんど変わらないのが大きな特徴です。みなさんハーモニカが吹きたくて集まったものです。明るくてまとまりのあるサークルで、みな励まし合いながら練習しています。サークル名も「小野楽しいハーモニカサークル」とし、楽しく活動しようと考えました。高阪他美子先生を指導者に迎え、先生の熱心なご指導に少しでも応えようと、みな必死で練習したものです。

私たちの発表の機会は 1 年目からやって来ました。小野市うるおい交流館(エクラ)からの要請によるものです。緊張も大変大きかったのですが、この第 1 回が私たちのサークルの出発点となったのです。また、2 年目には、何と北条鉄道の車両を借り切ったの走る列車内で「ハーモニカを楽しむ音楽会」を開いたのです。これもお客さんがどれくらい来ていただけるか本当に不安一杯でした。ところが近隣の市町村だけでなく遠くからもたくさんお越しいただき大成功となりました。



神戸新聞 2007 年 11 月 13 日 4 版

そのうちに地域の施設や幼稚園からの招待が来るようになり、今までに数え切れないほどたくさんの施設訪問をしています。演奏曲がむかし懐かしい名曲ばかりですので、皆さんに大変喜んでいただいています。

次に、ここ数年では、市内のアマダ工業株式会社(世界的な企業)内の満開の桜の下での演奏会も行なっています。今年で 10 年にもなりました。この桜は、小野市内でも有数の名所で、会社が年 1 回「花見ケーション」として地域社会に開放しているものです。私たちサークルはそこへ招待されています。満開の桜の下で演奏できる喜び、いつも元気にでかけ、張り切って演奏しています。

このサークルには、もう一つ楽しみがあります。それは秋の合宿です。2 日間ハーモニカ三昧で、夜は先生を囲んでハーモニカ談義に花が咲きます。この 2 日間で、互いの親睦深め、個人及びアンサンブルのレベルアップを大いに期待しているところです。

最後になりましたが、このサークルの一番の発表会は、何と言っても、年 1 回のうるおい交流会(エクラ)ハートフルサロンでの発表会です。この演奏会に向かって 1 年間練習していると言ってもいいでしょう。毎年 2 月末に開いています。先生の熱心なご指導により、この機会を個人あるいはサークル全体の力を伸ばす機会と捉えています。数百人のお客様に聴いてもらうのも大きな励みになっています。

これからもグループの名の通り、楽しい雰囲気の中で会員相互の繋がりを大切にしながら、先生のご指導を得て、ハーモニカの演奏技能向上とともに、地域にも貢献していきたいと思っています。

(小野楽しいハーモニカサークル 今泉 宏)

若い梁木 進、古希コンサート

2019年8月12日ココプラザ

若い、若い、と思っていたら、もう古希（70歳）とのことである。

当連盟では長期間事業部長として、ハーモニカ祭り、西日本コンテストに加え、交流旅行、交歓コンサート等も積極的に企画実施して大活躍、当連盟の活動以外でも5か所の教室や、ハデコンコンサート等も開催している梁木進氏が、古希記念コンサートとして、新大阪のあるビルの寒暖計が40度を示していた8月12日、ココプラザでソロコンサートを開催された（あの日は驚きでしたが、あの日以降40度は各地で出たので値打ちが下がりました）。定員230名の会場は満杯で、多くの方から好かれていることが感じられた。

当連盟の会報に掲載されたハーモニカ・カレンダーによると、直前の11日には、公開講座も開かれた様子。

ソロコンサートとはいっても、ゲストとして、口笛のM.Machiko、クラワンカカルテット及び津軽（味線のシアン・エリカ（危険毒物ではなかった））を迎え、ハーモニカ一本では、ややも

すれば退屈になるコンサートを、聴衆を楽しませようという企画で組まれていた。

3部に分けて、アンコールを含め、23曲を独奏された。曲名は次の通り。

「ラ・クンパルシータ 碧空 黒い瞳 リラのタンゴ 枯葉 宵待草の幻想 青葉の笛幻想曲 田園素描 ロシア民謡メドレー シャローム・リベリム マリネラ 丘を越えて 影を慕いて 国境の町 ドナウ河の漣 鳥取砂丘 瀬戸の花嫁 津軽海峡冬景色 氷雨 ラストダンスは私に」

トークにはかすれがあり、少しお疲れの様子であった。これだけのものを開催するには、いろいろ心配、気遣い等があったことと思う。しかし、ハーモニカは力強く、あるときには静かに演奏され、7年後（喜寿）、10年後（傘寿）、18年後（米寿）をも期待される、年齢を感じさせないコンサートであった。（写真参照）

（吉村則次）



第37回 もり・けん教室合同発表会



新しい年号令和に入り初めての合同発表会が2019年6月8日(土)、堂島の中央電気倶楽部で開催されました。この発表会は各教室が順番に担当して年2回開催しており、今回は37回目、箕面教室のお世話で約50名が集い、童謡を始め懐かしい歌やTVドラマ主題歌他、多種多様な曲を演奏しました。

開演前のリハーサル中、アンサンブルの音合わせをしていると、他教室のベテランさんから、マイクの使い方他、色々とおアドバイスをいただく一幕がありました。とても重要なことだと思います。自分流がいつも正しいとは限らないし、互いに観客の立場になって意見を言う。先生も生徒も一緒に作り上げていくのがもり・けん教室のすばらしいところです。

本番は幹事の箕面教室の演奏からスタート。アンサンブルには定評がありこの日も堂々たる出来栄。ソロ演奏では最新の曲にも挑戦されて、時代の流れを感じました。「心臓がパクパク、どこかに逃げていきたい」と前置きで言われた方の『365日の紙飛行機』は上手く着陸しました。

私たち甲子園教室のアンサンブルはまずまずの出来ながら、リハーサルで指摘の通り、マイクの使い方には課題が残りました。ソロ演奏ではそれぞれがこの日のため

に練習を重ねた曲を、私も『青葉の笛幻想曲』を精いっぱい演奏しました。また守口教室も初回参加にしては各人が堂々と演奏されて今後は楽しみです。

朝日カルチャー教室は総勢15名。アンサンブルが纏まっているのは指揮者のお陰でしょうか。ソロではご主人のギター伴

奏で演奏された方(西村さん)がおられました。ハーモニカの音色とよく合うのだなあと思えました。『稗搦節』の民謡ハーモニカの音色も美しかったし、『坊がつる讃歌』を聴いた時、どこかで聴いたことがある・・・昔、父が口ずさんでいた頃のことを思い出して、記憶を遡る歌の力を感じたところです。

最後はもり・けん先生の総評。「まずは曲を覚えること、譜面は見ないでその情景を頭に浮かべて奏でることが大事であること」を説かれました。演奏されたのはモンゴルの結婚式の祝い唄や満州鉄道敷設時に唄われた日本の『鉄道唱歌』など。これをモンゴルの人たちが歌っていることなどを教えていただき、ただ驚くばかりでした。この日は私にとって、学びの一日、癒しの一日でした。

(もり・けん甲子園教室代表 竹井健三)



第39回 F.I.H. ハーモニカコンテスト 2019

関西勢頑張る

2019年6月8日(土)に東京御茶ノ水の全電通ホールで開催された、F.I.H.(世界ハーモニカ連盟日本支部)主催のハーモニカコンテスト、入賞者は次の通りであり、西日本勢も頑張りました。(口琴藝術2019/夏号より)

クロマチック・クラシック部門

- 1位 近田万利子 ジャカランダ (総合グランプリも受賞)
- 2位 水川陽樹(京都市) Pictures of a Woman
- 3位 岸元 彩(兵庫県西宮市) Street Corner Concerto

クロマチック・ジャズポップス部門

- 1位 山崎妙子(福岡県小郡市) Winelight
- 2位 大村義直(岡山県) オブセションⅡ
- 3位 望岡季世彦(香川県) Left Alone

複音部門

- 1位 小林希久子(兵庫県西宮市) 黒田節
- 2位 藤原尊子 スラブ舞曲
- 3位 山田かおる さくらのワルツ

アンサンブル小編成部門

- 1位 やまさきいず(福岡県小郡市) エル・クンバンチェロ
- 2位 ジョーコ・レトロ・アルモニカトリオ MOTHER メドレー
- 3位 Joy 夢 剣の舞

アンサンブル大編成部門

- 1位 ローゼン・リッター ありのまま
- 2位 バロック・ハーモニカ・ソロイスト ヴィヴァルディ 春 第一楽章
- 3位 吹夢Z アイネ・クライネ・ナハトムジーク

(吉村則次)



導かれてモンゴルへ (2019年7月24日～31日)



翼の下に広がる大草原の中に突如街並みが現れたと思ったら、チンギス・ハーン国際空港に着陸しました。最初の宿泊地であるテレルジ国立公園内のツェベグマキャンプまでは、4時間余りのドライブでした。キャンプ長のバートルさんの教え子で馬頭琴奏者のマルガトさんも、もり・けん先生の到着を待っていて下さいました。先生は日本とモンゴルの歌を演奏、マルガトさんは馬頭琴の演奏と共にホーミーも披露。そしてお二人のコラボもあり、他のツアーリストの客からも盛大な拍手が起きました。

翌早朝には、日の出を見ようと、近くの丘にある岩に登りました。途中の草原には、一面に小さくて可憐な種々のハーブが咲いていて、エーデルワイスも歌で想像していたよりももっと小さくて見過ごしそうでした。朝日を見ながら先生のハーモニカに合わせて、童謡を歌って爽やかな一日が始まりました。

お隣の元遊牧民バットジャガルさん宅で、ヤクの乳絞り体験。牛乳からチーズやバター、ヨーグルトの作り方も見学させていただきました。午後は、ゲル訪問のマナー等を一人ずつ丁寧に教えていただき（まさにモンゴル流おもてなし）普段経験できない有意義な時間を過ごしました。

次に行ったアルブルドキャンプでは、手が届きそうなくらい近くに見える満天の星空。星座に詳しい竹田 昇さんがペンライトで説明して

下さって、一層素適な星空観測になりました。

メインイベントは、国立孤児院への訪問です。毎晩皆で集まり、モンゴルの歌のハーモニカ演奏と歌唱の練習です。竹田さんは、この旅行のために小学校以来（50年以上前）というハーモニカを持参されて、一緒に練習をしました。

旅行7日目、ウランバートル郊外にある夏のキャンプ地の孤児院を訪ねました。子どもたちは、毎夏日本から来てくれる“おじさんとその友達？”ということで、大歓迎してくれました。ハーモニカでモンゴルの歌やロシア民謡を演奏すると、目をキラキラ輝かせながら大きな声で歌ってくれました。

「幸せなら手をたたこう」も、手をたたこう、指ならそう、膝たたこう、足ならそう、最初から、と5番までジェスチャー付きで、元気に歌ってくれました。私たち“もみじ〜ず”の合奏「月の沙漠」（第1山本和子、第2松浦千恵、ポケットコード岡崎絹枝）も興味津々で聴いてくれました。もり・けん先生の長年に亘る支援で信頼されている様子がよくわかりました。できればハーモニカを寄付して教えてあげられたら…と思いました。

帰り道、ダンバルジャンの日本人霊堂に参拝しました。第2次世界大戦後、抑留されて重労働の中、望郷の思い叶わずこの地に眠る方々に、手を合わせて祈ることしかできませんでした。

私にとって、経験した事柄一つずつが、貴重な財産となった初めてのモンゴル旅行でした。





(もみじ〜ず 松浦千恵)

会員紹介コーナー

(会員の皆様からのご寄稿をお待ちしています)

第1回は「福田 勝さん」を紹介させていただきます。

奈良にお住いで、長身の上にもいつも背筋をシャキッと伸ばしておられ、遠くからも一目でわかる福田勝さん。連盟会員の中でも長老と言ってもいいお歳ですが、実はほとんどもお元気で、私共が足元にも寄ることもできないウォーキング記録を持っておられます。

68歳から86歳までの19年間で5万2千km歩かれた。これは福田さんの計算によれば、新幹線鹿児島中央駅から、九州新幹線・山陽新幹線・東海道新幹線・東北新幹線を乗り継いで、新青森駅まで、約2万2千kmを往復し、さらに博多駅まで歩いた距離になるとのこと。

会員の中にも1日1日のウォーキングを積み重ね、体力と精神力を維持しながら前向きに生活し、たゆむことなく歩き続けておられる方が多くおられると聞いていますが、もうすぐ米寿を迎えられる福田さんの記録には驚きと尊敬の念を禁じ得ません。

福田さんは、現在ハーモニカに嵌り、連盟のハモ祭りを始め、研修会、日本ハーモニカ芸術協会の定期演奏会、交流会等にいつも参加しておられますので、顔見知りの方も多いかと思います。

ハーモニカ以外の趣味も多く、若い頃から硬・軟いろいろな研究や趣味を楽しんで来られ、若い頃には学校における管弦楽器を導入したアンサンブルの実践に取り組み、全国コンクールでの上位入賞を重ねられたという実績もお持ちです。

ご本人はあまり語られませんが、実は“平成30年春の叙勲『瑞宝双光章』”を受章されています。そこに至られた道程には数々の功績とご苦勞があった事は間違いありません。

お若い頃のご活躍の話や、長い長いウォーキングの途上における様々な発見や多くの出会いについて、是非、あらためてお話を伺いたいと思っています。

(岩本洋之)

古関裕而

生誕 110 周年に寄せて

日本ハーモニカ芸術協会発行 口琴芸術
2019年夏季号 212号に「古関裕而がいた」
この表題で作曲家 古関裕而の特集記事が掲
載されました。この特集記事で古関裕而さん
の音楽活動の原点がハーモニカであったこと
が良く解りました。その巻末に古関裕而さん
が「リーダーズダイジェスト」1967年に投
稿された「古くて新しいハーモニカの魅力」
寄稿文も掲載されています。ハーモニカへの
愛着、造詣の深さに驚かされます。このダイ
ジェスト版は私が以前に編集部へ提供しまし
た。六頁の記事を抜粋してご紹介します。



「リーダーズダイジェスト」1967年（昭和42年）11月号より



一番簡素な楽器、ハーモニカが最近ブーム
を呼んでいる、昨年だけで五百万本売れ、全
世界でも2千万本超える。日本でハーモニカ
を吹ける人は、2100万人以上に近い、関心
が高まっている理由として、「テレビ・レコー
ドなどの缶詰音楽への反動として自分自身を
音楽を演奏したいとの欲望を満たしている」
との心理学者の評。また日本では、小学校で
音楽が必修で、ハーモニカを学校の選定楽器
になっていて、毎週1100万人の児童が吹い
ている。21穴複音ハーモニカが650円程で

1日で簡単な曲、1週間もすれば複雑な曲も
吹けるようになる。

海外では、カウボーイ、羊飼いや、船乗
り、探検家など、多くの人々に愛されてき
た。1965年、冒険家ロバート・マンリーが
大西洋横断に小型ヨットに持ち込んだ、英国
のローリング・ストーンがポピュラー音楽に
ハーモニカを使い始めた、米国では、ジョン
・セバスチャンは、クラシックを止めてジャズ
ハーモニカに転向した。

ハーモニカの歴史については、起源の詳細
は分からない。伝説によれば、中国、黄帝
が4500年前、5本の竹からできている5音
階の笙の笛を作った、その笙の笛が18世紀
に西欧に渡り、リードオルガン、アコーディ
オン、サクソホンそしてハーモニカの祖先に
なった。最初の近代的なハーモニカの発明者
の分別の判明は付かず西欧では論争が続い
ている。ドイツのクリスチャン・ブッシュマ
ン（オルガン制作）が1820年代に調子笛15
本を組み合わせて小楽器を作り、ウィーンで
流行しそれを婦人たちは、ペンダント、紳士

はステッキの頭に付けた。そのブッシュマンの小楽器がドイツのトロシンゲンで1857年時計職人マティアス・ホーナーが第1年目に650本制作した。1880年までに100万本、1900年までに700万本超え、トロシンゲンは、ハーモニカのメッカとなった。

クロマチックは1918年に発明され1500円程、音の調律は西欧では調律師による手作業で調律される、日本のヤマハでは年産300万本は特別製の電気調律機で検査している。空気がリードに吹き込まれ、出てくる音の振動数の目盛盤を見て調律する。ホーナー社は優勢ではあるが、日本も長足の進歩を遂げている。過去5年間の日本の会社の生産量は3,184万7,556本、ほぼ45億円位、国内需要である。

日本にハーモニカが入ったのは、1854年、日本と西洋の貿易の再開後、横浜、長崎で外国船員が吹き鳴らしたのが最初である。1901年、比留間甚八という人物がドイツからホーナー・ハーモニカを持ち帰り、日本の最初のハーモニカ奏者となりました。その3年後、16歳の学生であった宮田東峰氏が初めて全音階ハーモニカを手にした。彼はもともと新聞記者志望であったが、ハーモニカの音色に取り憑かれて、日本最初のプロ演奏家の巨匠となった。

大演奏家には、米国人が多い、新聞配達から身を起こした、ボラ・ミネビッチは（ハーモニカ・ラズカルズ）を結成し世界を巡演した。ラリー・アドラーはカーネギホールでバツ

ハを演奏した。宮田東峰氏は黒のタキシードを着て札幌から福岡まで全国の音楽会場を巡り熱狂的な拍手を浴びた。22歳の時、40人の「宮田ハーモニカ楽団」を結成し、今も活動している。そして長男英夫、次男邦夫の二人がハーモニカプロ奏者である。英夫氏は23歳、6歳の時から始めた、1年後に聴衆の前で演奏した、父の楽団の指揮と経営に当たっている。米国の黄青白（チェンバーハン）のもとに勉強して最近帰国、米国で黄青白のパートでラリー・アドラーとトリオで演奏した。このように当時の状況を詳述している。

この小さな楽器をポケット・ピアノと称してプロの演奏家に渡ると驚くべき音色に変身する楽器として、鳥の鳴き声、汽車の音、マンドリン、三味線、琴のトレモロのような音色に驚嘆した事。奇抜な用途として、アマゾン奥地で恐ろしいインディオに遭遇した時、ハーモニカのお陰で笑顔になって、続けるようにと、一番気に入られたのはモーツァルトだったとの事、またドイツの実業家はハイキングの際にハーモニカを吹いていると、第1日目は15分で息切れするが、3時間吹き続けると体調が良くなって来る。とハーモニカの効用、用途を紹介している。

ハーモニカは、いかなる場所でも仲間になってくれる。そして宇宙飛行士ウォルター・シラーがジェミニ6号の宇宙から最初の音楽を送って呉れた事は、トロシンゲンの狭い通りから随分高く新しい高みに到達した。とハーモニカを暖かく絶賛して結んでいます。

あとがき

この原稿の締め切り日は8月15日です。今、書き終えたところです。その日は終戦記念日です。私事で恐縮ですが、終戦記念日を迎える時になると、いつも戦後の荒廃した市中で私と同年代の戦災孤児の姿が思い浮かんできます。若い現役時代、無目的な人生感の漠然とした不安感の中、『鐘の鳴る丘』のテーマ曲『とんがり帽子』をハーモニカで吹けば、一瞬にして心の霧が晴れました。この曲の作曲者である古関裕而さんのハーモニカエッセイ文を生誕110周年に当たってご紹介できましたこと、身に余るものがあります。この「リーダーズダイジェスト」の表紙付きのコピーの小雑誌を頂戴した時期、その方のお名前も忘れてしまっています。全文を知りたい方は、ご連絡下さい、コピーを郵送します。

(寺村安雄)



れんめいひろばでは、読者の皆様からのハーモニカに関する「お役立ち情報」の提供や「教えて欲しい事」や「トピックス」等の投稿を歓迎します。☆新たに「つぶやき」コーナーを設けます。日頃考えていること、皆さんに語りかけたい事などを簡潔にまとめてご寄稿下さい。☆投稿者氏名と希望するタイトルを付けてワード文書をEメールに添付して編集室へお送りください。但し原稿内容やページ数の都合で全て掲載されるとは限りません。

◆1 オクターブ低いクロマチック・ハーモニカ出現（吉村則次）

2019年7月5日、スズキから「バス・クロマチック S-48B」というものが発売された。

現在売られている16穴クロマチックより更に1オクターブ低い音が出るもので、音の配置やサイズ等は、現在のスライド式クロマチックとまったく同じ。

今まで、低い音が出るクロマチックに対する要望は、クロマチック愛好者の中からは強く、ヨーロッパでは、市販の16穴クロマチックを自分で加工して作っているものがおられた。私も、「低温はんだ」を使って、自分で作ってみようという考えを持っていたが、自分で加工することは、16穴クロマチック2台分を使用して、金属を切ったり引っ付けたりする必要があり、ちょっと不可能だと思っていた。

ところが今回、個人ではなく「ハーモニカ・メーカー」が作ってくれたのは、非常に嬉しいことであった。私は、すぐ注文して、バス・ハーモニカの代わりに、現在使っている。

各リードの先に、「重り」を電気溶接でつけたもので、3オクターブであった。

理論上は、リードの先を削れば音は高くなり、リードの根もとを削れば、音が低くなる、先に重りをつければリードの振動が遅くなり音が低くなる、ということは分かっているが、はたして、どのような息を吹き込めば、そのような重たいリードが鳴り出すかについては、疑問を持っていた。

もし、製作が可能なものであれば、今までのスライド式クロマチック・ハーモニカの100年の歴史の中で、どこかの専門メーカーが取りついていたはずである。リードを大きくしたものは、今まで「バス・ハーモニカ」として市販されているが、全部が吹く音になっており、サイズも大きいので、正確に鳴らすには非常に難しい。今回のものは、12穴スライド式クロマチックと同じ配置とサイズであることに、重要な意味がある。

さて、リードの振動が遅く、リードの重さが大きくなるので、当然といえば当然であるが、高い音のリードと同じ息では鳴らない。また、余韻が長くなるので、早いパッセージも難しい。経験と練習が必要である。また、これも当然ではあるが、音量が小さく、合奏に使用するには、マイクとスピーカーが必要と思う。

興味のある方は、当連盟の賛助会員である鈴木楽器販売大阪支店 06-6190-7911 に問い合わせしてみてください。価格は、同社のチラシでは、68,000円プラス税とあります。

◆クルージングでハーモニカを（吉村則次）

6月に、私の人生の最初で多分最後となる、5泊6日の神戸発神戸着の、クルージングに行ってきた。乗客定員2706人（別に船内で働く人が1080人）の115,875トンのクルーズ船で、エレベータも寿司屋も劇場もライブハウスもプールもあるものでした。

ある日の午前、14階のデッキを散歩していると、複音ハーモニカが聞こえてきました。当然、私はその方の演奏の合間を待って、話しかけました。福岡県のN市のNさんという70歳台前半の女性で、私も知っている同県のGさんという方から習ったと言っていました。モンティのチャルダッシュなんか

も吹いていました。

数日後、7階のプロムナードで再び偶然お会いしました。やはりハーモニカを吹かれていました。もう100回もクルージングに乗ったとのことで、乗っている時も毎日欠かさず練習をやっておられるとのことでした。仮に、その方がハーモニカを吹いていなければ、誰も気にとめることもない、普通のおばさんでした。

◆立川志らくさんが登場（岩本洋之）

5月16日（木）MBSテレビ（4チャンネル）19時からの「プレバト」(*)にて立川志らくさんが「オーケストラとハーモニカ演奏」に挑戦されました。

曲名は「アルビノーニのアダージョ」、トンボのメジャーボーイ（10ホールズ）GmとB♭を使用したようでした。番組での演奏は「凡人」と判定されたが、10ホールズでの演奏は難しいのに「すごく頑張ってる」との印象を受けました。



*「プレバト」とは

視聴者と共に、芸能人の才能の「有る・無し」を判定して楽しむ「プレッシャー・バトル」の略称

◆五線紙でハーモニカ？……新潟県五泉市のことです（吉村則次）

- ・クロマチック・ハーモニカの南里沙さんが2019年6月26日水曜日に新潟県の「五泉市」というところで、リサイタルを開かれたそうです。数字譜はだめ？
- ・滋賀県の栗東市で吹くと、速い曲もだんだん遅くなってしまいます（rit.）。
- ・6/30日本ハーモニカ芸術協会関西支部連合会コンサートに、伊丹市東りいたみホールへ行きました。治療中の歯が痛みました。JR学研都市線の木津から伊丹へ来られた方は、より大変だったと思います。
- ・神戸市の垂水区には、当連盟の会員（団体会員を除く）が6名もおられます（2017発行の会員名簿による）。また、6/30の伊丹市での日本ハーモニカ芸術協会関西支部連合会演奏会では、20名の垂水ハーモニカ友の会が演奏をされましたが、区及び団体の名前にかかわらず、緊張感を持って練習されているようです。
- ・大阪府吹田市メイ・シアターでハーモニカを吹く時は、食事を十分にしてから行ってください。お腹がすきません。
- ・兵庫県尼崎市のアルカイック・ホールに行かれた時は、ぜひ甘いものを食べて帰ってください。

◆お寺での小さなコンサート（竹内寿子）

6月23日（日）午後、JR天王寺駅からスマホの地図を頼りにたどり着いたのは一心寺の南会所。松矢多恵子さん主催のピアノコンサートはもう始まっていて、グランドピアノの美しい音色が響いていま

した。出番を待つシニアの方々の緊張が伝わってきて微笑ましく、ハーモニカの発表会と同じだなと思いました。私のお目当ては松矢孝一さんのアルトホルンハーモニカ。奥様とお嬢様のピアノ伴奏で「白鳥」と「おぼろ月夜」を演奏、会場を魅了されました。お孫様のアルトサクソ（管楽器）のすてきな演奏も聴けました。心温まる手作りのアットホームなコンサートでした。



◆出版物のご案内（編集室）

「ハーモニー」220号26ページに、日本ハーモニカ芸術協会会長の田邊峯光先生の本「複音ハーモニカ上達のコツ50」を紹介しました。その後、同先生の第2弾「もっと美しく奏でる複音ハーモニカ 10の奏法をマスターする本」が出版されました。奏法ごとの実践的なワザがくわしく、わかりやすく解説されています。来年1月13日には愛日会館に田邊先生を講師にお招きして講習会（日本ハーモニカ芸術協会関西支部連合会主催）が開催されます。メイツ出版、定価1,660円。



◆つばやき…ハーモニカで歌う（梁木 進）

ハーモニカは吹くためというより、歌う為の楽器と考える事にしています。かなり前の事ですが、森本恵夫先生がステージに上がるなり「皆さん今日からハーモニカを吹くのをやめましょう」と言われたのです。その意味は先生の説明で理解が出来ました。心得のある人は「ハーモニカで歌う（奏う）」という意味とご理解いただけるのではないのでしょうか。

じゃ、歌うってどういう風にすればよいのでしょうか？ 極論かもしれませんが私は楽譜を見て吹く人はただの『ハーモニカを吹き』と解釈しています。楽譜を見ないで吹く人は頭の中で歌って吹いているのでこの場合は『ハーモニカで歌っている』と考えています。

楽譜を見て正確に吹く、良い演奏をするために楽譜を見ると主張される人がいますが、それも間違いではありません。しかし、私は、自慢ではないが楽譜を見て吹くなんて一度もステージではしたことがありませんし、今後高齢期になって記憶力が衰えればわかりませんが当分の間楽譜を見て吹くなんてことはないでしょう。

ではどのようにすれば楽譜を見ずに吹けるようになるのか、私の経験を紹介します。探り吹き（頭に浮かぶメロディを楽譜を見ずに吹くことです）は誰でも少しはできるはずですが、知っているメロディであれば誰でもできますね。知らない曲でも探り吹きをしているうちにメロディを覚えます。メロディを覚えてしまえば楽譜なしで吹けるのではないのでしょうか。探り吹きが出来たという事はハーモニカを半分征服出来たと私は教室でよく言っています。

探り吹きの仕方に戻りましょう。カラオケを使ってハーモニカを吹くと楽譜が無くても、知っている曲なら吹けますよね。最初は知らない曲も聴きながら吹いているうちに出来るようになります。出来るまで、練習しましょう。練習時は楽譜も見てもかまいませんが、吹ける様になったら、楽譜を卒業しましょう。

私は幼少の頃から楽譜を見て吹きませんでしたが、教室では最初は楽譜を見ますが演奏も聴いて、同時進行しています。その曲を30回練習するとしますと、最初の10回は楽譜と演奏同時進行、次の10回は楽譜を見ないで演奏を聴きながら探り吹き、そして最後の10回は楽譜も、演奏も無しで独奏をす

るのです。何度も間違いますが、間違った時に楽譜を見ます。30回は一度にするのではなく10日～2週間の期間を要します。速く、しかもややこしいところは繰り返し練習をします。メロディを覚えるだけでなく、どこにどんな奏法を入れるかも練習の時に頭に入れましょう。

このようにして一度頭に入った曲（探り吹きできた曲）は忘れません。たまに繰り返し練習し直しますが今では50曲以上を楽譜無しで譜面通りに吹けます。私の場合は、楽譜を見る必要がないので、歌を考えながら吹ける利点があります。これが森本先生の言う「歌いましょう」だと思います。

練習をするときは集中力が大事です。私は通常、3～4曲まとめて練習をします。1曲だと飽きるし、同じ曲を何度も吹いても一気に上達しないことが分かっているからです。時間を空けて再チャレンジをするといつの間にか上達しています。持ち歌の中から繰り返し練習をすることも重要です。皆さんの参考になればと、つぶやきのつもりで書きました。

行って！見て！聞いて！”（私の備忘録）vol.14

「川の歌への思い」

ドイツの作曲家フリードリヒ・ジルヘル作曲の「ローレライ」を練習されている方に感想を聞かれ、ライン川を思い浮かべるとともに、佐藤秀廊先生はライン川の思い出を何か書いておられないかな？と「佐藤秀廊ハーモニカ独奏曲集第二集」の「ローレライ・ワルツ」の解説を見たがそこには思い出らしきことは書かれていませんでした。

“乙女が岩になった”云々のハイネの詩に語られている岩が「ローレライ」である、という事よりも私は川そのものに興味がありました。ヨーロッパ最長のヴォルガ川、No.2のドナウ川、そしてライン川、ヴァルタヴァ（モルダウ）川等、川を歌った曲は人間の営みと密接に繋がり、人生と重なり合う事もあって印象的です。

特にドナウ川の流れは世界中の音楽好きの人たちの頭の中で滔滔と流れていると思いますが、以前からその水源が気になっていました。そして、ドナウの始まりは、スイスの地下水脈がドイツ南部の田舎町に湧き出たものと知った時、「ライン川はアルプスの麓の湖に源を発する」と言うことを思

い出しました。

氷河が地下水脈となって下った所に湖を形成し、そこから北へ流れ出て行ったのがライン川。同じ地下にあった水脈がドイツの南部で姿を現して東へ東へと流れて行ったのがドナウ川ということだ。改めて書くほどの事でもない、とも思うが、私が実際に見たオーストリアにおけるドナウ川、フランス・ドイツと国境を接するスイスのバーゼルで見たライン川、フランクフルトで見たライン川の支流であるマイン川、チェコで見たヴァルタヴァ川の印象は「堂々たる流れ」であり、「湧水」と結び付け難いが、「忘れてはならない思い」として記録しました。

因みに、佐藤秀廊ハーモニカ独奏曲集1～3に所載されている「川」は、ブンガワン・ソロ、ヴォルガ、ライン（ローレライ・ワルツ）、スワニー川、ドナウ川、です。フランスのベアール作曲の「河は呼んでいる」は事情が少し違うようです。

一方、日本の歌集で出てくる川といえば「千曲川」「隅田川」「大井川」「長良川」「神田川」「最上川」「北上川」等でしょうか？

（岩本洋之）

連盟サイト閲覧手引き X

閲覧の高速化 イライラのランキング（日経 PC21 から）

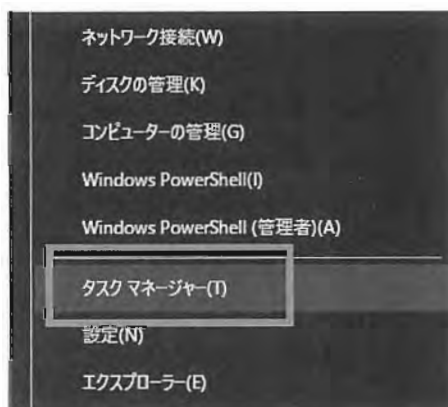
2位 作業中に頻繁にフリーズする。

「作りかけのデータが消えてしまった。心配だがダマシダマシ使っている。」

パソコンの画面が急に固まることを「フリーズ」といいます。フリーズには、マウスカーソルが動かない、キーボード操作ができないなど、複数の状態があります。

その原因は、ソフトウェアやハードウェア、ウイルス感染などがあります。また、フリーズしているように見えて、実は処理に途方もなく時間がかかっているということもあります。

対策として強制的に再起動するという方法もありますが、その場合は保存していない情報が失われてしまうため、強制再起動は最後の手段として解決方法を探っていくことが大事です。



1：マウスやキーボードが操作できる場合

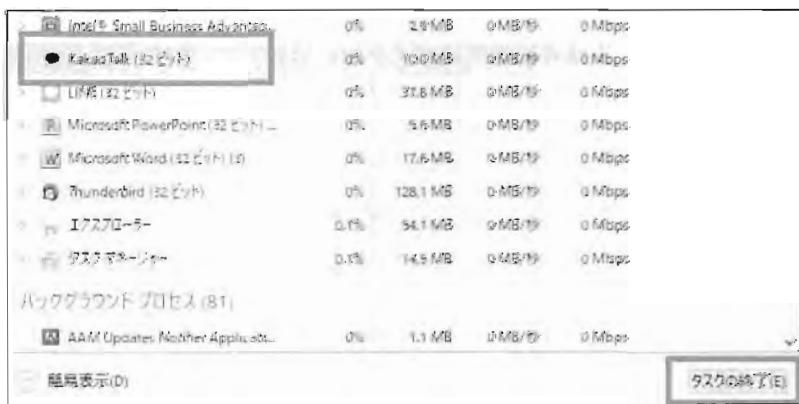
マウスやキーボードが動く場合には、試す方法があります。フリーズの多くは、特定の機能やデータを複数のソフトウェアが取り合う時に発生します。このため、使用していない起動中のソフトウェアを終了させていきます。

1-1：ソフトウェアを終了する

終了（×）ボタンを押してもソフトウェアを終了できないときは、「タスクマネージャー」を使って終了させていきます。

1-1-1：タスクマネージャー

タスクマネージャーは、Windows10では[スタート]ボタンを右クリックして[タスクマネージャー]を選択することで起動できます。起動しているソフトウェアの一覧が表示されるので、不要なものから終了していきます。終了したいソフト名を右クリックし、[タスクの終了]をクリックします。CPU使用率の高いソフトがフリーズの原因になっていることが多いので、そういったソフトを終了します。



2：マウスやキーボードが操作できない場合

について次号で解説します。

（編集局 HP 担当 渡辺晃志）

会員異動のお知らせ

2019. 8. 15現在

組織部長 梅田恒弘

当連盟では名簿を公開していますが、本人の申し出があれば個人情報(住所・電話番号等)を非公開に出来ることが、2004.7.12の常任理事会で決議されました。また、2014.8.28常任理事会で、会員異動のお知らせの住所表示は市区名までにすると決まりました。会報220号(2019年7月号)でお知らせ以降の会員異動は、次の通りです。(敬称略)

(個人会員入会)

会員番号	氏名	〒	住所	受付日
712	杉本 實美	640-	和歌山市	2019.05.30
713	中村 淑子	666-	川西市	2019.06.03
714	井上 文	***	(非公開)	2019.06.19
715	浦部 元子	***	(非公開)	2019.06.24
716	柿本 壽彦	652-	神戸市兵庫区	2019.07.25

(団体入会)

団体番号	団体名	会員数	代表者
97	鳩(かいつぶり)ハーモニカクラブ	10	中平正治
98	淡海(おうみ)ハーモニカクラブ	12	小野秀明

(2019年度：団体会員登録)

団体番号	団体名	代表者	会員数	受付日
3	NHK神戸マリンハーモニー	吉村 望	11+2=13	2019.05.27
5	音大アンサンブル	森本一正	7+1=8	2019.06.05
81	コプラザ公開レッスン教室	小野浩子	+3=31	2019.07.25
30	朝日カルチャー中之島アンサンブル	大西素子	-1=7	(重複登録) 2019.07.03
33	尼崎ハーモニカエコーズ	雅賀 健	+1=27	2019.06.29
64	高槻ハーモニカクラブ	小林 肇	+1=10	2019.07.08
48	寝屋川ハーモニカアンサンブル	山口弘子	+1=16	2019.07.13
97	鳩(かいつぶり)ハーモニカクラブ	中平正治	+10	2019.06.30
57	ハーモニカ同好会いかるが	岩本洋之	+2=13	2019.07.18
24	ハーモニカズ・アバンドーネ	新井尚子	+1=8	2019.07.18
70	グッドフェローズ・ハーモニカクラブ	森浦和子	+1=6	2019.07.15
98	淡海(おうみ)ハーモニカクラブ	小野秀明	12	2019.07.16
94	ふれあいハーモニカ・島本	小林三岐子	+1=15	2019.07.23
27	甲風アンサンブル	道下正裕	+1=7	2019.07.29
	合計		608	

(団体名変更)

団体番号	(新) 団体名	(旧) 団体名	受付日
94	ふれあいハーモニカ・島本	チーム島本	2019.07.23

(団体代表者変更)

団体番号	団体名	(新) 代表者名	(旧) 代表者名
48	寝屋川ハーモニカアンサンブル	山口弘子	橋本厚子

(住所・☎番号等の変更・訂正)

個人番号	氏名	変更・訂正の箇所
	無し	

(個人退会)

個人番号	氏名	理由	受付日
595	今井隆雄	逝去	2019.06.05

(団体退会)

団体番号	団体名	代表者	受付日
	無し		

2019. 8. 15現在の個人・地域外個人・準・賛助・特別の合計224名、団体会員は608名(52団体)です。

お願い；個人会員の入会・退会、団体会員の入会、住所・住居表示・電話番号・市外局番等
名簿記載事項の変更は必ず組織部へお知らせ下さい。

◎ 組織部長：梅田恒弘のFax番号が以前の番号に戻りました。“0774-39-5506”です。

■合宿・地域の文化祭・ハモ祭りが近くなりました。小さな庭の片隅に、よくぞ生まれたと感心するセミの抜け殻と、誕生を謳歌する鳴き声に励まされて、ハーモニカ練習に向かうこの頃です。この季節、救われるのはコード・ハーモニカのバルブの貼り付きが生じないことでしょうか。WEB 編集も中休み気味で、秋のイベントに備えて古いデータ・ソースの整理にかかっています。(渡辺晃志)

■今号から「会員紹介コーナー」がスタートしました。自薦、他薦、ご寄稿をお待ちします。連盟は人材の宝庫、錚々たる経歴をお持ちの方ばかりです。皆さまとの出会いから多くのことを学びました。残り少なくなったこの後の人生にも、まだ新しい出会いと学びが待っていると、思うとわくわくします。(竹内寿子)

■「連盟は今何をすべきか？」が課題になっています。多くの方々が必要な意見や提案をお持ちですが、寄稿等で発表されているのは非常に限られています。演奏会が開かれる地域での宣伝、教育委員会を通じた子供達の招待等、提案は色々出来ますが、実行したとしても効果が期

待できるか？と問われると、そんな簡単ではありません。国際交流イベントで教育委員会の後援を受け、近隣の小学校に直接 2000 枚のチラシを配ってお願いしたが、結果は小学生の参加はゼロだったという経験があります。ハーモニカの普及とか会員確保とか難しいことを言わず、とにかく外に出てハーモニカを吹くことで「楽しんでいる姿」を見て貰うのが一番良いのかなあ？と思う今日この頃です。(岩本洋之)

■全国の保育園幼稚園で進行中の 0 歳からの複音ハーモニカ。面白くなってきました。8 月鹿児島のお邪魔した時の写真が今回の表紙。小さい子どもに文句なしに受け入れられる複音ハーモニカは、北は福島、南は沖縄まで今 10 数か所で開催中。言葉も要らず、かぶりついて見せるだけで吹けます。知っている音楽、覚えた音楽は皆吹けるようになり、園長先生も他の先生もみんな子供と一緒に吹いています。園中にハーモニカの音が響く素晴らしい園がどんどん増えています。私のハーモニカの生徒さんは 0 歳から 92 歳まで、みんなハーモニカは大好き！苦しんでいる人はいないはずですか？(もり・けん)

編集局より訂正のお願い

ハーモニカ 220 号 (7 月号)

P17 関西ハーモニカ連盟の佐藤秀廊賞受賞者 大矢弘文 (誤) 大矢博文 (正)

次号
締切日

次号 第222号 (2020年1月号) の

原稿締切りは **11月15日 (金)**、会報編集室必着でお願いいたします。

同封物締切りは 12月5日 (木) 発行は12月中下旬予定。

関西ハーモニカ連盟 会報 第221号 (2019年10月号)

発行人 吹上 晴彦

編集人 もり・けん

発行所 関西ハーモニカ連盟会報編集室

〒530-0037 大阪市北区松ヶ枝町 6-12 西栄ビル 2F

TEL 06-6354-0323 FAX 06-6353-1393

e-mail: harmonica@cardandmedia.co.jp

印刷・製本 株式会社カード & メディア



ドレミちゃん
©関西ハーモニカ連盟



お子さん、お孫さん、ご家族の方々、親しい仲間、かわいいペット、大切にしているもの、風景など…ハーモニカと一緒に写っている写真を広く会報読者から募集しています。採用分は会報の表紙または裏表紙に掲載いたします。ふるってご応募ください。プリントまたは写真データを郵便またはメール添付便で下記までお送りください。

関西ハーモニカ連盟会報編集室「ハーモニカとワンショット」係
〒530-0037 大阪市北区松ヶ枝町6-12 西栄ビル2F 関西ハーモニカ連盟事務室内
e-mail: harmonica@cardandmedia.co.jp

